
勇者「初代勇者マジ死んで下さい」

junq

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勇者「初代勇者マジ死んで下さい」

【Nコード】

N7872Q

【作者名】

junq

【あらすじ】

凄まじい魔力を持った女性が『魔王』と呼ばれる世界。そこで色んな意味で奮闘する勇者のお話。

勇者とは、何を以って勇者と定義されるのだろうか。

雷の魔法？ 龍の紋章？ それとも今は滅んだ一族の末裔？

そんなものでは決して無いはずだ。

唯一つ勇者に要求されるのは、勇氣。

勇氣を持って困難を打ち破る者。

それが勇者であるべきだ。

だから、俺が勇者とか認めない。

「勇者さまあ。待ってください〜い」

「勇者あ！ 貴様、昨晚妾と共に寝た責任を取れ！」

「んまつ！ 『寝た』とはどういうことです！？ 抜け駆けは許しませんよ！」

黒髪長髪で素朴な顔立ちの、村娘風なのが一人目。

金髪ツインテールで釣り目と、まさにツンデレといった女王様風なのが二人目。

栗色の髪を三つ編みにしている童顔の、自称愛の伝道師が三人目。

全員が『魔王』である。

そもそもの発端はこの世界の法則と、初代勇者だ。

この世界には、度々凄まじい魔力を持って生まれてくる女性がいる。その女性は、意識せずともその体から溢れ出る魔力で、周囲を魔界へと変える。

動物はモンスターとなり、植物は毒々しき性質を持ち、池は毒沼へと変わる。

それは勿論、人間も対象外ではなく、オークやゴブリンといった亜人に変えられてしまう。

だが、稀に魔力に耐性を持った人間が生まれてくる。

その人間達が魔王を殺し、なんとかかこの世界を守ってきた。

だが、初代勇者の時代。

それはどうしようも無くなった。

それまでの魔王は、魔力を持つていること以外は普通の人間だった。だからこそ、それまでは周囲を魔界に変える自身を嫌い、自刃の元に果てる例もあった。

だが、その代の魔王は心身共に『魔王』だった。

有り余る魔力を振るい、モンスターを統率し、世界を滅ぼそうとした。

勿論、人間達も黙ってはいない。

魔力に耐性を持つものを中心に、何千何万という人間がモンスターと戦った。

代償は大きかったが、それでも初代勇者を筆頭とした4人組は魔王

を討伐せしめた。

自らが越えてきた屍を顧みて、勇者は決意したそうだ。

もう俺の代でこんなことは終わりにしよう。

魔王を討伐した際の、魔王の血。

凄まじい魔力が籠った品を用いて、勇者は自分の家系に呪詛をかけた。

一定以上の魔力を持つ者に、強制的に好かれるという呪詛だ。

勇者は自分の家系を人身御供に差し出して、世界を今も守っているのだ……というのが、この世界に伝わるお話。

そして、その勇者の末裔が俺らしい。

くそっ！ 初代勇者マジ死んで下さい！

……ゴホン。

そして、魔王という奴は五十年に一度ぐらい発生するものらしい。

それなのに、何故か俺の代の魔王は三人も居る。

しかもほぼ同世代。

何か間違いがあったとしか思えない……

魔王三人の顔が良いからまだマシだが、とんでもないブスであることもあつたらしい。

娘が居たらどうなっていたか……呪詛の二次的効果として男性しか生まれないけどな、うちの家系。

まだこの三人とはそこまでいってないが、三人も居て何が困るかといえは夜の営みである。

三人も相手にしていられるか！

ハーレムプレイ？ 寝言は賢虚で死にそうになってから言ってみるや。

初代勇者の呪いによって、そこら辺もカバーされてるけどな！

「勇者様あゝどこですかあゝ」

「勇者！ することとして逃げるのは男らしくないぞっ！」

「下品な言葉は慎みなさい！ それに、勇者様！ 三人共相手をするのが筋でしょう！」

おっと、勘付かれたようだ。

捕まる訳にはいかないし、逃避行と行きましようか。

(後書き)

妄想が滲み出たので。

この設定を使いたい、という方はお申し出下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7872q/>

勇者「初代勇者マジ死んで下さい」

2011年10月5日17時47分発行